

ライフサポート：はた

「学習会やイベント等」のご報告 (皆さんの、ご参加をお待ちしています！)

NO.80 : 2025. 12. 23

四万十市中村大橋通 7 丁目 1-24

連合高知西地協 TEL:34-9191

発行責任者：事務局 伊達幸雄

色々な組織やクラブに参加している方も多いと思いますが、何か面白い話やイベントなどがあればお知らせください。皆さんからの連絡をお待ちしています。

10 月 8 日（水）10 月期学習会 < 22 名参加 >

「高規格道路拳ノ川佐賀間 現場見学」

現場案内：中村河川国道事務所 建設監督官 山内貴人 さん



6 月期の学習会で「高規格道路(窪川佐賀道路等)の進捗状況」についてお話をいただき、今回はその現場を見学させていただきました。

黒潮拳ノ川 IC 下にある、佐賀温泉“こぶしのさと”に一度集合し、パンフレットを基に全体説明を受けました。窪川工区も見学予定でしたが、片坂バイパスで故障車両があり『私の日ごろの行いのせい?』、窪川工区はキャンセルとなりました。

マイクロバスを構えてくれるとのことでしたが、なんと西南交通のトイレ付観光バスが到着『私のおかげ?^^』、バスに乗り込み、黒潮



熊井トンネル

佐賀 IC から工事現場に向かいました。貫通している、「熊井トンネル」と「不破原トンネル」を徐行運転でとおり抜け、一度下車し今後の工事状況の説明をしていただきました。



高速道路の工事現場を見学させていただくのは、そうあることではないので、参加者の皆さんは興味津々で、山内建設監督官の話を聞き、通行

したトンネル内を見ながら見学を終えました。

学習会後の幹事会を、佐賀温泉内レストランで昼食をいただきながら、来月以降の学習会及びイベント内容の確認をしました。昼食後には温泉にも入り、有意義な時間を過ごしました。



11 月 5 日（水） 11 月期学習会 < 14 名参加 >

「2025 年度こくみん共済 coop 高知推進本部推進活動計画」について

講師：こくみん共済 coop 中村支所長 久保 宏 さん



<< 推進活動の基調 >>

お役立ち発想と共創活動にデジタル技術を取り入れた「新しいたすけあい」の創造と実践に向けて、公式アプリ・こくみん Life サポートに共済金お届け場面の体験価値(CX)を加えた取り組みを展開し、共済利用を通じた、社会課題の解決をめざす。

たすけあいの促進(推進活動)

●こくみんLife(生活・保障)サポートの取り組み

- ・ライフスタイルや価値観の多様化に合わせた保障提供
- ・公的保障、企業内保障を踏まえた保障提案
- ・公式アプリを活用した組合員の利便性向上

●よりよい共済商品4やサービスの提供

- ・団体生命共済を中心とした組織保障の充実
- ・各種共済の加入を通じた組合員の「可処分所得向上」
- ・組合員、ご家族の「複合利用」による安心の備え

- ・昔は平均的な保障だったが、現在はそれぞれに合わせた保障
- ・アプリ登録することで、位置情報がわかったり、支払い時間の短縮
- ・民間の保険から切り替えて掛け金が安くなる

事業の推進が目的なので、推進活動しながら社会課題へも取り組み、たすけあいの輪を広げていく

社会課題への取り組み

●防災・減災運動

- ・防災、減災の啓発活動、イベント実施
- ・災害時無保障者の解消に向けた取り組み
- ・住まいる共済の見積もりを通じた被災地復旧支援の取り組み
- ・防災士の資格取得を踏まえた諸活動

●子どもの健全育成の取り組み

- ・7才の交通安全プロジェクト(横断旗の寄贈)
- ・こどもの成長応援プロジェクト(なわとび・長縄寄贈)



- ・イオンで2月に防災イベント
- ・共済金が入っていないと出ないので保障内容の確認と説明
- ・火災共済の見積もり1件につき100円を能登半島のボランティアに寄付金を送っている
- ・職員が積極的に防災士の資格を取得
- ・マイカー共済の見積もり1件につき横断旗1本(去年は土佐清水市教育委員会に寄贈)
- ・こくみん共済こども保障タイプの加入数分の縄跳びを寄贈

《協力団体における推進施策》

- ・労働者自主福祉運動の継承と発展
- ・各イベントにおける取り組み
- ・組合員のニーズに応じた保障および資産形成の提案
- ・保障設計運動の創造と実践
- ・セット共済 WEB システムの拡充
- ・マイカー共済の団体割引維持、拡大を訴求した推進

＊公式アプリの活用は特に推進中なので登録がまだの方はぜひ登録を！！

その他にも活動内容や共済の種類・お得情報などなど、盛りだくさんでお話いただきました。

詳しくは直接 **こくみん共済 coop 中村支所** へ連絡して下さい。



12月3日(水) 12月期学習会 《59名参加》 四万十市社会福祉センター 「ジェンダーについて」

講師：高知県退職者連合会 副会長 山中千枝子 さん

第33回高退連幡多地区連絡協議会総会の前段に12月期学習会として高知県退職者連合会(高退連)副会長の山中千枝子(やまなか ちえこ)さんに来ていただき、「ジェンダーについて」講演をしていただきました。



ジェンダーとは？

性別に基づいて社会的に要求される役割などの社会的性差をさすことばとして用いられる。

社会的性差とは、たとえば「**女性(男性)**は、～すべき」と今日の日本で一般に考えられているようなことは、時代・文化によってさまざまに異なることが知られている。

山中さんの講演から【資料内容から】

公立中学校から、高知県人権啓発センターに異動したときに「男女雇用機会均等法」にであった。その条文に「セクシュアル・ハラスメント」が、我が国初めての人権侵害に対する罰則にあたると先輩から聞く。“罰が有る無しに係わらず、人を差別することは決して許すことができないことなのに”と、その時感じたことを思い出す！先輩は話を続けた、1971年頃(54年前)民間企業、高知の大手企業は25歳が定年のところもあったという、主たる仕事はお茶くみ、書類の整理、今ならコピー、25歳定年なら重要な仕事をさせられなかっただろうことが容易に判断できる。女性は学をつける必要はない、結婚して、家庭に入る。寿退社である！わずか50年前のことだ。

2002年に公立学校の校長になった。東日本にある大学の教授を参観日の講演にお招きした。彼は初めて女性校長に出会ったということでびっくりしていた。「高知は、女性管理職は多いのですか？」からはじまりたくさんの質問を受けた。「高知は他県に比べて多いかもしれませんね」と答えた。学校を出るとき私は「教育に対する思い、子どもや保護者、地域への思い。同僚との信頼など、実践は男性も女性も一緒ですよ」というと「男性も女性も変わらないですね」と彼は結んだ。

地域活動では、女性の役員が少ないからといって重宝されている傾向がある。実力のある女性も多くなっているが、女性だから・・・だけに甘んじている女性もいる。実力をつけてどんどん社会活動に参加してほしいと、常日頃思っている一人である。「適材適所。男性だろうが女性だろうが、そんなことは関係ないでしょう」といくら言っても役員選考の段階で女性がいないことが多い。今こそ、女性の活動やその内容が試されるときだろう。

日本退職者連合の野田那智子さんのお話の中で、「洗濯は誰がしますか？」「掃除は誰がしますか？」「料理は？」・・・との問いかけに、「はい」と笑顔で手をあげる男性の数が多かった。「うん、さすが高知」と振り向きながら拍手。家事も育児も仕事も地域活動も男性も女性も、すべての人が共同してやるべきだろう。そのことが実現し、実感できる社会こそ「ジェンダー平等」社会になる。

【女性も男性も社会の中心になるように・・・！】

12月3日(水) 高退連幡多地協総会

学習会の後、59名の参加者で開催されました。

宿毛市職員退職者会の「山崎 節」議長の進行で、1年間の活動報告と活動方針を提案し承認されました。



具体的な活動としては、1. 政策・制度要求について 2. 組織強化・拡大について 3. 「生き生きと安心して暮らせる社会」への取り組み の3点を、向こう1年間取り組んでいくこととしました。

各行事報告

チャリティーゴルフ大会 10月27日(月) ユートピアCC 参加者 94名

幡多ライフサポートセンター・四国労金・こくみん共済coopの3者の共催で、第22回幡多ライフサポートセンターチャリティーゴルフコンペが土佐ユートピアカントリークラブで行われ、参加者94名での開催となりました。



四国労金・こくみん共済coop・連合高知西地協・幡多地区労福協・中村クリニックより多大な寄付を頂きました。

参加者全員に賞品があり、大変喜ばれている大会となっています。

尚、今回のチャリティーの募金は三原村社会福祉協議会に寄付しました。

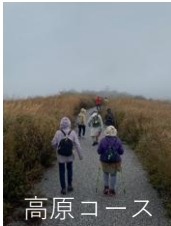


セラピーウォーク 11月1日(土) 天狗高原 参加者 33名



総勢33名が大型バスに揺られ、一路天狗高原目指し出発。途中、ゆういんぐ四万十でトイレ休憩と買い物をし、国道197号線を梶原方面へ。途中の紅葉を期待しながら天狗駐車場へ向かう。

セラピーコースも高原コースもガスがかかり、空気も冷たく最悪の登山日和で、私たちの班（高原コース）は約20名。ガスの中を歩く山登りは最悪の状況。見晴台まで600mの急な登りを約50分かけて到着。そこで昼食をとったが、風も出て寒さが増し、食事を終えて6人ほど帰路。残りは予定どおり展望台約800m、カレンフェルト約500m



を經由して出発地の休憩所へ到着。一部の人は休憩所でコーヒータイムや星降るビレッジで買い物を楽しみながら集合時間の2時になり、予定どおり帰路。楽しい一日になりました。（伊達幸雄）



第10回釣り大会 12月15日(土) 参加者 12名

晴天の下、宿毛湾新港で大会を開催しました。

釣れなかった方も、釣れた方も、大漁だった方も楽しい一日を過ごせたと思います。今年も、闘争心ゼロで戦いをした結果は下記のとおりです。



太いで賞一位	幾久利典
大漁賞	広井純一
こんまいで賞	葛本るきら
珍魚賞	山岡勝他
めでたいで賞	金子伸
特別賞	渡辺智美
頑張ったで賞	今倉由美子 他

2位以下省略



ジャンケンで商品券の奪い合い

今倉さんにすくってもらい、タモを渡されたとたん・・・
(;・д・´)
大物を釣り上げ、優勝！！



<確定申告学習会>

四万十市

2月9日(月)、10日(火)

両日とも 13:00～

連合高知西地協

土佐清水市

2月12日(木) 13:00～

土佐清水市立中央公民館

宿毛市

2月13日(金) 13:00～

宿毛市文教センター

四万十市をご希望の方は、上記以外でも受け付けていますので、必ず日にちと時間の連絡をお願いします

☎ 0880-34-9191 金子・武山



2026年も
よろしくお願いいたします